

開講日	2018年秋期 水曜日 18:30-20:00	講義場所	研究棟11階講義室A/名古屋駅 JPタワー 5階 会議室
コースディレクター	名古屋市立大学・医学研究科・脳神経生理学 教授 飛田秀樹/名古屋市西部地域療育センター 所長 宮地泰士		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】 発達障害に対する理解、指導法の習得、事例研究、などが進み、勉強熱心な関係者が多い。最近では教育現場の教員や療育にたずさわる関係者の中には、発達障害の医学的知識を知りたい、薬の作用メカニズムを知りたい、脳の仕組みを知りたい、などの声も多くなってきた。本講座では、ADHDを中心に発達障害の医学/生物学的な知識を実験結果からの裏打ちから深め、今後の発達障害児の教育/療育の幅を広げられることを目指す。 【期待される成果】 運動や行動の脳のしくみ、発達障害の診断から病気の医学的理解、環境要因の生物学的影響などについて学び、受講後のさらなる自己勉強がよりスムーズとなるとともに、実際の教育/療育現場での対応法の応用を考える手助けとなる。		
目標とする 資格			

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
脳のしくみと 病因を知る	1	神経の基礎から行動のしくみを学ぶ	脳は神経、神経膠細胞、希突起膠細胞から構成される。胎児期に基本が作られ、20歳頃までゆっくり成長している。神経系の発達と動物としての神経系の基本的な働きを学ぶ。	9月5日	教授 飛田秀樹 名古屋市立大学・医学研究科 脳神経生理学
	2	発育期の脳腸関連の重要性	腸内フローラは生後に作られ、その状態が精神と関係があることが分かってきました。我々の研究からも"発育期のうま味"が攻撃性減少に関係することが明らかになりました。	9月12日	教授 飛田秀樹 名古屋市立大学・医学研究科 脳神経生理学
	3	脳と環境物質の関連を知る	近年、有機リン系殺虫剤がADHDの有病率と関連すると米国の研究者が報告し、話題になりました。微量な化学物質の体内取り込みと発達障害に関する最新知見を学びます。	9月19日	教授 上島通浩 名古屋市立大学・医学研究科・ 環境労働衛生学
発達障害の 発見から診断へ	4	発達検査の解釈とその応用	今回は学齢児によく行われる発達検査の1つであるWISC-III、IVを中心に、発達検査の結果をどのように解釈し、実際の指導に活かすのかを学びます。	9月26日	医師 永井幸代 名古屋第二赤十字病院 小児科
	5	発達障害の診断	ADHDをはじめとする発達障害それぞれの特徴や診断基準、それぞれの違いや鑑別診断についてを学びます。	10月3日	医師 福原里美 名古屋市立大学病院小児科 (里童こころと育ちのクリニック)
発達障害の 病態を知る	6	薬を知る: 薬の効き方から副作用まで	ADHDや発達障害の治療で用いられる薬が、どのように作用するのかについて学びます。さらに、その副作用についての理解を深め、適切な服薬へのアドバイスを可能にすることが目標です。	10月10日	医師 大橋 圭 海南病院 小児科
	7	ADHDの診断と治療効果を画像で知る	ADHDへの薬物療法が国内でも始まり、その治療効果を画像検査で評価することが可能となりました。長期的な厳格格闘の脳への影響についても学びます。	10月17日	特命助教 水野賀史 福井大学医学部付属病院 子どものこころ診療部
	8	病気に併発する発達障害	先天性の疾患や周産期障害による疾患に併発する発達障害のケースもあります。病気の原因に応じた発達障害のベストな療育に向け、その病気自体について学びましょう。	10月24日	所長 谷合弘子 名古屋市中央療育センター
	9	自閉症の科学	近年、自閉症の成因メカニズムを探る分子生物学的研究が盛んに行われています。そのような研究ではどのようにアプローチし、どのような知見が得られているのかを学びます。	10月31日	教授 松崎秀夫(特別演者) 福井大学 子どものこころの発達研究センター
	10	大人の発達障害を知る	ADHDは発育期の子どもだけの問題ではありません。最近では、大人のADHDも注目されています。ライフステージ毎の発達と療育も意識してみましょう。	11月7日	講師 山田敦朗 名古屋市立大学・医学研究科 精神・認知・行動医学
教育/療育の 実践へ	11	トータル環境を考える: 保護者との連携	ADHDや発達障害児の治療には対応の方法などの環境調整が不可欠です。学校と家庭で子どもへの一貫した関わり方が可能になるためには、どのような連携が必要なのか考えます。	11月14日	所長 浅井朋子 名古屋市発達障害者支援センター
	12	より良い教育/療育へ向けた課題を知る	教育現場および行政サイドの立場から発達障害に関わった経験者からのお話を伺い、より良い将来の教育/療育に向けた現状とその課題を考えましょう。	11月21日	主任指導主事 山口純枝 名古屋市教育委員会 指導室
	13	乳幼児の注意ネットワークの発達	注意のネットワークは、脳の発達にともなって発達していきます。その育みに、周囲の人との相互作用はどのような影響を及ぼすのでしょうか?	11月28日	教授 中川敦子 名古屋市立大学・人間文化研究科 心理教育学科
	14	ほめて育てる: 理論と実践	発達障害児に限らず、ほめて育てることは子どもにとって大切なことです。そのポイントや注意点を学びます。	12月5日	所長 宮地泰士 名古屋市西部地域療育センター
	15	新たな教育/療育を考える: グループディスカッション	本講座のまとめを、ディスカッション形式で行います。生物学的な理解を深めたのち、どのように教育/療育に繋げることができるのでしょうか?	12月12日	教授 飛田秀樹 名古屋市立大学・医学研究科 脳神経生理学